

「第38期 1月例会 ～上甲晃氏に聴く経営者の志～」

1月28日 於 京都府産業支援センター 5F 研修室

株式会社長濱製作所 立入 一晃

令和2年1月28日に機青連1月例会としまして、(有)志ネットワーク社の上甲晃様をお招きしまして、総勢35名の会員様にご参加いただき、『経営者の志』についてご講演していただきました。

上甲様は、大学卒業後に松下電器産業(現・パナソニック)に入社され、“経営の神様”と言われた松下幸之助氏のもとで、長年にわたり松下政経塾の運営に携わってこられました。また“志の高い国づくり”をテーマとした「志ネットワーク」を主宰され、青年塾を設立し、青年の啓蒙に当たっておられます。

この度のご講演では、人として・経営者としての心構えを松下幸之助流でわかりやすく語っていただきました。「人間力」のお話では、人間は魅力のある人間性が大事で、本人に魅力がないと努力は生きてこないと磁石の磁力に例えて語っていただきました。経営者は人の話を聞くことが大事で、聞く耳を持たれば従業員はやる気が起き、会社の雰囲気は変わり成長し、顧客への最高のサービスを生み出す力となり、企業の発展に繋がると言っておられました。また話し方は場数を増やせば克服できるが、聞き方は本人に聞く心がないと魅力ある経営者になれないとおっしゃられました。

「変化」のお話では、目先の変化に囚われすぎるな、平凡な事でも「そこまでやるのか」の精神で臨むことにより、感動が生まれる。経営者には学歴は関係なく、衆知を集めることが経営の最大のポイントと言われ、難有の心受入れ、経営者なら全てを活かしていくべきだと。不景気は“なおよし”と考え、好景気に出来なかったことを反省し、改革をする。これが経営者のやりがいとも言っておられました。

「熱心さ」のお話では、経営者は社員に対し熱心さだけは負けてはならない。人一倍努力し、仕事に対し熱心になれば熱いメッセージをいただきました。経営者のあるべき姿は、「将来のあるべき姿を指し示す」・「実現の段取りをする」・「段取りを実行する」の3つことを述べられ、経営していくなかで貴重なアドバイスをいただきました。上甲様のお話を聞かせていただき、何事にも自ら行動し実践していかなければいけないと切に感じました。会員様にとっては改めて自分自身を見つめ直す良い機会になったのではないかと思います。

最後になりますが、ご多用にもかかわらず私達若手経営者に熱のこもったご講演をしてくださいました上甲様、誠にありがとうございました。会場提供していただきました京都産業21 小嶋様、勝山様、山本様、ご参加いただきました会員様に改めて御礼申し上げます。

